

■ 愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」



愛鳥週間の中心行事として、当連盟の総裁である常陸宮殿下及び妃両殿下ご臨席のもと、環境省との共催で開催しています。野生生物保護功労者表彰などの行事を行い、野鳥保護の大切さを広く全国に発信しています。

■ 愛鳥週間用ポスター原画コンクール

愛鳥週間用ポスターの製作、配布を行っています。野鳥の絵の創作過程を通じて愛鳥思想が高まることを期待し、愛鳥週間用ポスターに使用する絵は全国の小・中・高等学校から募集しています。総裁賞に選ばれた作品がポスターに採用され、全国の地方自治体や教育機関などに配布されます。



■ 全国野生生物保護活動発表大会



環境学習を推進し、将来の自然保護を担う子供たちを育てていくため、環境省共催、文部科学省、林野庁後援のもと、全国の小・中・高等学校の児童・生徒が行っている野生生物保護活動を表彰し、環境省で発表してもらう活動を行っています。

■ 「ヒナを拾わないで!!」キャンペーン



巣立った直後のヒナが誤って保護されてしまう事例が多いことを受け、正しい知識と対処の方法を広く伝えることを目的に、日本野鳥の会、野生動物救護獣医師協会と連携してポスターを制作性、全国に配布しています。

■ 釣り糸（テグス）拾い活動



水辺に放置された釣り糸（テグス）に野鳥が絡まって死んだり、傷ついたりするケースが多発しています。現状を伝える活動とともに、全国でテグス拾いが行われるよう呼びかけています。

■ バードピアづくりの推進

バードピアとは野鳥（バード）と楽園（ユートピア）を掛け合わせた言葉です。都市部の限られた緑地環境で野鳥たちが安心して暮せるよう、私達の身の周りにある庭やバルコニーなどの空間を、野鳥たちにも提供してもらえるよう技術的情報の発信とともに登録を呼び掛けています。



■ 野鳥の巣箱架け事業

巣箱架けを通して愛鳥思想を普及・啓発するため、幼稚園・保育園・学校・企業などを対象に巣箱作りと巣箱架けによる愛鳥活動プログラムを提供しています。また、フクロウ用の巣箱を架設して調査を行い、フクロウの保護にも貢献しています。



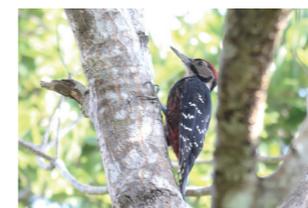
■ シマフクロウの保護活動



国内に100つがい程度しかいないシマフクロウの保護のため、巣箱架けや当連盟が所有または管理する給餌場への魚の給餌、ヒナの個体識別、現状を伝えるための啓発活動などを行っています。

■ 奄美群島の固有希少鳥類の保全

世界自然遺産に登録されている奄美大島等において、アマミヤマシギやオーストンオオアカゲラなど、固有希少鳥類を保全していくために必要な調査研究を行っています。



■ コアジサシ保全のための研究



当連盟の中にコアジサシ研究センターを設置し、国内外のコアジサシの渡りに関する調査・研究や、海外とのネットワークの構築、国際鳥類学会議などを通じた情報の発信を行っています。

■ 外来種の調査・研究

生息域が拡大しつつあるワカケホンセイインコ等について、現状を把握し、在来種への影響や農業被害が起こらないようモニタリングを続けているほか、問題が起きないようにするための対策を考え発信しています。



■ サシバの保全のための活動



絶滅危惧種であるタカの仲間、サシバの現状や生態を把握するため、奄美大島における越冬数調査への参画や、渡りルート解明のためのGPSタグによる調査を、サシバに関わる国内の主要団体と共同で行っています。

■ 国際サシバサミット

サシバの保全のために国内の主要な鳥の保護団体や国際間でのネットワーク構築を目指した国際サシバサミットに参画し、運営やサシバの調査研究で得られた情報の共有等に取り組んでいます。



■ フィリピンにおける国際協力事業



フィリピンにおいて、渡りをする猛禽類のサシバやアカハラダカの個体数調査を通じ、子供たちへの環境教育や教材の製作を行っているほか、サシバの密猟対策やこれらのタカ類がエネルギー補給できる森を目指した森林再生事業などを行っています。また、子供たちが観察に参加しやすいよう、現地で子供たちに寄贈する中古双眼鏡を国内で募集しています。

